

市政を問う

一般質問

6月定例会における市政に関する一般質問は、6月9日、10日、11日に行われ、10人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は、9月1日頃から半田図書館・亀崎図書館等に配置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。

※その他、議員ごとにYoutubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。



創造みらい半田 伊藤正興

小中学校における新型コロナウイルス感染症の対応

問 全国の小中学校で様々な学習スタイルが模索されました。半田市として、この状況をどのように考えますか。

答 現段階では、各家庭のインターネット環境の状況から、オンラインによる授業や学習は難しいと考えます。しかし、ICT機器を活用することができれば、児童生徒には、より効果的な学びを提供できます。まずは、GIGAスクール構想による、一人一台のタブレットと学校のネットワーク環境を整備し、さらに、オンライン学習等の実現に向け検討していきます。

問 新型コロナウイルス感染症に対する心のケアが必要な児童生徒に対しては、どのように対応しますか。

答 児童生徒は、様々な悩みや不安を感じていることが予想されるため、学校再開後、速やかにアンケートを実施しま

市政を問う

一般質問 (質問議員が執筆しています)

した。得られた情報を基に担任やスクールカウンセラーとの面談を行い、児童生徒の思いに寄り添った対応を行っています。さらに、保護者にも相談窓口の連絡先を周知し、不安を取り除けるようにしていきます。

問 長期の臨時休業に伴い、不足した授業や学校行事等の時間を確保するために、土曜日授業や冬休み・春休みの短縮を提案しますが見解を伺います。

答 夏休みの期間を2週間程度に短縮することや学習活動の見直しをすることで、本年度に必要な授業時間を確保することが出来ます。今年度の小中学校の修学旅行と野外教育活動は、時期をずらして実施し、可能な限り、体験活動の機会を確保します。その他の学校行事は、意義や目的を改めて考え、見直しや選択をして実施します。今後、感染拡大等により、さらなる臨時休業を行わなければならない状況となれば、土曜日授業や冬休み・春休みの短縮を検討する必要がありますが、現段階では、行う予定はありません。



公明党 山田清一

避難所の感染症対策

問 避難所の増設やホテル等を活用した分散避難体制の構築は、どのように取組めますか。

答 学校の教室も避難所として利用できるよう調整し、民間施設である市内10か所のホテルにも拡充に向け調整します。

問 市民の皆さんへ、親戚や友人の家等への避難を検討していただくことについての周知が必要ですが、どのように取組みますか。

答 ハザードマップ等が安全なのかを確認いただく中で、「安全な場所にいる人まで避難所へ行く必要がないこと」を市報やホームページ等で周知し、親戚や友人の家など「避難所以外の安全な場所への避難」もお願いいたします。

問 非常用持ち出し袋等に備蓄する等、自助の向上の啓発強化が必要ですが、どのように推進していきますか。

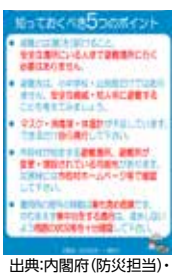
答 避難の際には、食料や水などの非常持ち出し品に加え、感染症に有効なマスク、消毒液、体温計といったものは、事前に用意していただくようお願いいたします。

問 感染症と自然災害の複合災害に備える防災訓練が必要ですが、どのように取組みますか。

答 市内感染者が確認されている状況を想定した、新たな避難所内の配置設定や資機材利用等を加えた訓練を早期に実施し、検証と改善を行い対応力を高めていきます。

問 感染症と自然災害の複合災害に備えた地域防災計画及び避難所運営マニュアルの見直し等、どのように考えますか。

答 半田市地域防災計画は、今回の新型コロナウイルスは、今回の新型コロナウイルス感染症を踏まえた防疫・保健衛生対策の修正をします。避難所運営も、避難者の体調管理を始め、体調不良者は別の部屋への避難等、対応をマニュアル化します。



出典:内閣府(防災担当)・消防庁

